

新潟県雪対策実施計画について

1 策定趣旨及び進行管理

県では、令和5年3月に改定された「新潟県雪対策基本計画」（以下「基本計画」という。）により、今後講ずべき雪対策の基本的方向を明らかにするとともに、生活環境や地域の実情等に対応したきめ細かな対策を推進していくこととしています。

この「新潟県雪対策実施計画」は、基本計画の「第5 計画の進行管理」に基づき、基本計画における主要な施策の指標を定め、県が実施する雪対策関連事業の進捗状況を管理し、毎年度、予算や実績を更新して、取りまとめるものです。

2 表示方法

(1) 基本計画の内容

『新潟県雪対策基本計画』で掲載されている「施策の推進」の原文

(2) 具体的な事業

- 事業名及び所管課
再掲事業（複数の施策項目に該当する事業）について、最も関連の深い項目以外は、「(事業名)【再掲】」と記載
- 事業概要
- 事業実績等
- 事業費
直接事業（雪対策に直接関連する事業）は「事業費」と記載し、関連事業（雪対策が主たる目的ではないが、雪対策にも効果が及ぶ事業）は「事業費（関連事業）」と記載
- ア 事業名
- イ 区分
国庫補助事業は「国補」、県単独事業は「県単」と表示
- ウ 令和7年度予算額（当初予算額）
- エ 令和2年度～令和6年度決算額
ゼロ予算事業は「-」、実績がない事業は「0」と記載
- 計画の位置づけ
「(1) 基本計画の内容」の該当項目を記載

3 目標 ※1

指標	基準値※2 (実績値)	現状値 (実績値)	目標 (R8年度)	出典・資料	基本計画対応部分 ※3
冬期（1～3月及び12月）の交通事故死者数	11人 (R3年度)	19人 (R6)	減少させる	県警調べ	I. 1 雪に強い交通ネットワークの確立
雪処理に伴う死傷者数	140人 (H25～H29平均)	200人 (R2～R6平均)	90人以下 (R2～R6平均)	地域政策課調べ	III. 5 雪処理の担い手と安全の確保
屋根雪処理に関する満足度（雪の多い地域の住宅）	44% (H30)	44% (H30)	増加させる	住生活総合調査 【担当：都市政策課】	II. 2 雪に強く快適な住まい・居住環境づくり
克雪住宅の割合	38.4% (H30年度)	38.4% (H30年度)	40.0% (R10年度)	新潟県総合計画 【担当：建築住宅課】	II. 2 雪に強く快適な住まい・居住環境づくり
除雪ボランティア「スコープ」延べ参加者数	116人 (R4年度)	127人 (R6年度)	増加させる	地域政策課調べ	III. 5 雪処理の担い手と安全の確保
除雪ボランティア「スコープ」活動回数	5回 (R4年度)	5回 (R6年度)	増加させる	地域政策課調べ	III. 5 雪処理の担い手と安全の確保
スキー場利用客数（12～3月）	326.0万人 (R3年度)	402.4万人 (R6年度)	増加させる	観光企画課調べ	V. 2 雪を利用した魅力ある観光づくり
積雪時でも安心して暮らせると感じる県民の割合	65.7% (R6年度)	65.7% (R6年度)	70.0% (R10年度)	新潟県総合計画	V. 4 雪国の新たなライフスタイルの創造
雪に親しみ、雪を活用する県民の割合	37.9% (R6年度)	37.9% (R6年度)	45.0% (R10年度)	新潟県総合計画	V. 2 雪を利用した魅力ある観光づくり
雪冷熱利用施設数	67施設 (R3年度)	69施設 (R6年度)	増加させる	地域政策課調べ	V. 1 利雪技術の利用開発

- ※1 本目標は事業実施を保証するものではなく、社会情勢や財政事情等により変更する場合があります。
- ※2 新潟県雪対策基本計画は数年に1度見直しを行っており、基準値は見直し時点に把握したもの。
- ※3 雪対策基本計画「第8 施策の展開」に掲げる7つの施策展開に対応するもの。